○市 PTA 連絡協議会・市長意見交換会

1 日 時 平成30年9月8日(土曜日)午後2時から午後4時15分まで

2 場 所 市役所教育委員会教育棟2階第2・3会議室

3 出席者 市 PTA 連絡協議会委員 1 7 名

小田川市長

適正配置推進室 職員5名

4 内容 ①学校予算について

②適正配置について

5 配布資料 ・つくばみらい市教育委員会が目指す学校教育

・つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画だより第3号

- 6 会議録要旨
 - ① 学校予算について

委員1

学校の予算配分について小田川市長にお聞きしたいのですが、予算を一律 15%カットということで今年度スタートしていて、学校の維持管理費、もしくはトイレが和式のままであるとか、老朽化がひどく進んでいるところのテコ入れも、市にやってもらうようお願いする状況になっています。

学校の先生も(市に予算のことについて)なかなか言いにくいらしく、例えば私たちの方に「刈り払い機が壊れてしまったので、PTA会費の一部から負担してもらえないか」とかお願いされたり、草刈りも炎天下の中、PTAの方々に手伝っていただいたりしています。

現状予算がつかない、無理という部分があるにしても、我々保護者がやって当たり前というかたちになっていて、何度市に陳情しても予算がつかないのでPTA会費を使っています。

PTAのメンバーからも「学校に言われた欲しい備品を何でもかんでも 買うための予算じゃないよね」という意見も出ている中、板挟みも起きて いる状況があるので、そういったところの意見をお聞かせいただけると助 かります。

市長

それはまさしくその通りだと思います。市で出すべきじゃないかと思うんですが、学校単位でお金が無いというお話を、実際に財政当局に話が来ていないんですよね。

事務局

来年度の学校予算について、10月下旬から11月の上旬で学校側と調整をしていくというようなスケジュールでいます。基本的には学校とヒアリングや要望を聞いて、その中で学校予算について判断をし、最終的には市の財政状況などの大きい枠の中での判断となってくるので、そこに繋いでいるというかたちになっています。

我々としても当然学校同士が不均衡にならないように、全部の学校の予 算要望内容を一度見せていただいて、その中で申し訳ないけど勘弁しくれ という部分と、これは足りないのでもっとつけた方がいいんじゃないかと いうところを、学校側と話し合いをした上で、市財政当局に予算要望して います。

必要な予算はしっかりとつけたいというところが教育委員会としての考えですので、○○小学校さんに限らず、全ての学校側とマンツーマンでお話しをするので、きちんと話を聞きながら、来年度に向けて学校側と調整したうえで、全体の枠の中でやっていくというところですので、その点ご了解いただきたい。

事務局

学校教育課が主に(予算について)みている点は、子ども達の授業に直接関わる部分かどうか、例えば紙代やコピー代であるとかそういった部分を中心にみています。施設・設備に関しては学校教育課設備係が、学校で修繕が必要な部分について、各学校から要望をいただいています。その要望についても各学校の中で優先順位をつけて、その優先順位に基づいて、全体の優先度をみながらバランスを見て、限られた予算の中で計上しているという状況です。

委員1

ありがとうございました。

学校の優先順位のところに漏れている部分というものがどうしても出てきます。例えば〇〇小学校で言えば体育館のトイレがまだ和式のままで、老朽化が酷いのですが、目先の草刈り機がなければそっちを補充してくださいとなってしまったりします。

新設の学校と設置から何年も経っている学校もあるので、同じようにし るとは言わないですが、標準の設備にするといったところは少し検討して いただきたいです。うちだけではないと思います。

事務局

今日お話を伺いましたので、そのあたりのところは内部で伝えます。

市長

今問題の一つとして小絹小学校のトイレが、どうしても古くてちょっと可哀想だなというところまできています。校舎が2つありますので、(改修は)1つずつにはなるのですが、今年と来年とで改修工事をやる予定になっています。ですのでちょっとそちらに目がいってるってところもあって、他の学校の先生達が(予算要望について)言いにくくなっているのかもしれないですね。

委員1

小絹小学校を差し置いてとまでは言わないですので。

予算化するものはして、贅沢品であるものは我慢してもらうという最低限のところが満たされていけるのであれば、私は逆に質問してよかったと、ありがとうございますの話になります。

市長

逆にPTAの方から教育委員会に(要望を)あげるという事を学校の方が分かれば、逆にもっと一歩前進すると思うんですよ、先生達も。ですので、それはPTAの方からあげてもらうっていう方法もひとつあるっていうことで、皆さんで考えていただければそれはいいのかなと思います。

委員2

○○小学校と同じで浄水器が壊れまして、その時も「市に予算がないのでPTAの方でお金を出してください」と言われました。これは大げさですけど、水ですので命に関わるという話になりまして、緊急でPTA予算で買いました。

その次は夏暑かったので、大型の扇風機を体育館に2台買いました。 2台じゃ足りないのですけど、やはり市に予算がないというので、PT Aで買うという事をしました。

そういった話は学校から聞きましたか?去年と今年と2年続けてPT A会費から買いました。

事務局

聞いておりませんので、全部確認したいと思います。

市長

やっぱり聞いてないですよね。先生も言いづらい雰囲気があるのかな。 そこかなと思うんですね。

事務局

どういうことが困っているかが分かっていないと手が打てないので、ヒアリングの時に事務局から全学校に聞きます。本日のように意見交換を行ってすぐに要望あがってくるという事は、各学校いろんな問題を抱えているのかなというところが想像できますので、まずは学校の方で(市に)これまで要望していないことで、何か言えなかったことや困っていることはないかというのは確認しようと思います。

委員3

○○小学校会長もおっしゃっていたように、先生達は「ここは直して欲 しい」とか「ここは足りないから予算をつけて欲しい」とか思ってること と、子どもが思っている事は違うと思います。

例えば、娘が「トイレを早くどうにかしてくれ」って言っているけれども、先生達にとってみたら、別の方が最優先だから、和式のトイレは皆トイレできるから我慢してよって思われたら、トイレに予算をつけてくれないという事になってしまいます。子どもの意見を全て組み入れろとは言わ

ないですけど、子ども達が行きたいと思う学校にしてほしいです。

関連して今年、市で行われている陸上競技会のユニフォームを買ってくれと学校からお願いされました。本部役員からは「学校の行事だから違うんじゃないか」という意見があったんですが、先生とも色々と話をして本部で揉んで、PTA会費からユニフォームを揃えるということで出しましたが、どこまでPTA会費で出していいのか正直分かりません。

子どもの観点から考えて、他校がみんなユニフォームを持っているのに 〇〇小学校だけジャージは可哀想ということで出したんですけれども、全 員貰えていないのに、PTA会費から出したことについては課題として残 りました。そういうすごくうやむやなところもあるので、子どもの事とそ ういううやむやな部分とかをどうにかしていただきたいです。保護者から すれば、6年生の親なんかは特に「私たちは今年しか使わないのに、なん で私たちが負担するの」といった意見が出でしまうんです。

委員4

うちもユニフォームがボロボロになったので、買い替えさせてくれと確かに頼まれました。

学校の先生達はやっぱり市に言うよりは、PTA会費があるから、我々 保護者の方が言い易いものがあるのかなというところがあります。

しかし、あんまり P T A 会費から買っていると「何これ?」とこっち(会長)に来ちゃうという恐怖感があるんですよね。義務教育なので市の税金で賄うべきものを、会長がぼんぼん出していると我々会長が指摘されちゃうんですよね。

委員5

予算について学校教育課は、実際学校に行って現場を見てという判断の 仕方はしていますか?事務局の方が現場に行って判断して説明した方が、 学校の方も言い易いのじゃないかと思います。

事務局

まず先ほどのユニフォームの件につきましては、全校とも予算にはつけていないのが現状です。

学校の施設を見ているのかということですけれども、施設・設備的なものについては学校教育課内の施設係が学校から連絡があった時に、行って 状況を確認しています。すぐにやらなければならないものについては、市 職員が直営で木を切る等の対応をしています。

また、来週から予定しているのですけれども、我々適正配置推進室の職員で学校視察の準備を進めているところです。私どもで見させていただいて、気になる点やその時お話しできる先生がいればお話を聞くというかたちをとって、状況を確認したいと思っています。

市長

話を陸上競技会に戻して申し訳ありませんが、PTA会費で負担すると ずっと決まっているのですか?

事務局

特別ありません。

委員4

しかし、学校の先生がうまいこと言って、PTAにお金を出させています。

委員3

出してもらうのが当たり前で話が来ているんです。他県の学校に聞いたら、いくつかの学校は、「ユニフォームは子ども達全員に渡せないから P T A 会費からは出していない」と言っていました。

市長

これは市の行事なの?記録会と言っているものですよね。

委員6

ユニフォームでなくても出られます。別にジャージで出ろって言われれば出られるんですよ。ただもう揃えているから、着なくては可哀想っていうみたいな。

委員3

実は1回、全員に与えられないならジャージでよいという話になったんです。しかし、それを目指して頑張る子どもがいるという話を聞いたら、「子ども達一人一人何にお金をかけたらその子が伸びるかというのは違うから、今は全員の分は渡せないけど色んなことをPTAのお金を使って、子ども達に投資してあげることで誰かが伸びればいいよね」というスタンスで今年は買いました。

市長

じゃあこれは全小学校ユニフォームを揃えているということですね。

委員3

そうみたいです。

今出ているのは、「PTA会費事業化しろよ」というお父さんもいます。 事業化して色んなものを売って特別会計として収益にして、学校で使うも のに関しては保護者からお金を取らない、保護者が寄付というかたちで何 か物を買ってくれて、そのお金で買うっていうのであれば、まだ保護者の 人も納得するのではないかという話が実は出ています。

委員4

PTA会費と特別会計が混同してしまって、PTA会費で学校の予算のものを買っている現実問題があるんです。

市長

わかりました、PTA会費が学校に使われているという事に関して、こ

れから調査してみます。

委員7

予算の件は一旦いいですかね。では次の議題に移ります。

②適正配置について

委員4

みらい平に中学校はつくっていただきたい。(既存中学校の) 先生方も 皆さん素晴らしい良い学校だという風に分かっていますけども、なにせ遠 いんです。

あと、学校用地として土地があるので、現状としてはっきりしてもらわないと納得感が無さすぎる。もう1つはソフト面。つくばみらい市の教育に特色と言いますか、間違ってもいいからこういう方向でいくという推し進める力が欲しいなって感じる時があります。

市長

ありがとうございます。

中学校建設に関しては、やはり私が決める時が最終決断なのですが、その前に審議会などを開催します。適正配置をやる会議の中でも中学校建設については議題の1つとしてあげています。審議会の中で、行政側だけの考え方ではなく、代表者皆様の考え方の中でも揉んでいただきたいなと思います。

ただ市の内情をお話ししますと、現状では非常に厳しい財政状況である ということは分かっていただきたいです。

だからと言って何もしないわけではなくて、やはり財政力を上げるために今様々な手法をとっています。企業誘致を推進していたり、小さいものだとふるさと納税の収入を上げようとしています。そういったところで少しずつではありますが、税収を少しでも上げて、それで有効に使えるお金を増やしていかなければいけないというところを目指して取り組んでいるところです。ですので、可能性はゼロではないかもしれませんが、今お答えできる範囲でお答えしますと、今のところちょっと厳しいというのが行政側の考えです。

あとソフトの部分に関してはですね、○○様がおっしゃったように、やはりこれからは特化した教育、つくばみらい市の子ども達はここが優れているんだよっていうようなところを目指さなければ、なかなか独自性というものは育っていかないのかなと思っています。

委員3

適正配置委員会の中にみらい平地区の人は入っていますか。

市長

入っていただく予定です。

委員7

○○さんから質問があったので補足しますが、適正配置の審議会委員の中で、PTAの関係者というかたちでいえば、みらい平地区は入っていません。市の見解というところで、PTA関係者以外も含めれば、みらい平も入っています。

委員3

小学校とは地域の核として基本的にまちづくりの中であるものですよね。その中で、みらい平は中学校が伊奈中と谷和原中に分かれてしまうので、小学校でみらい平のコミュニティって分かれてしまうんです。ですので、コミュニティの確保という観点から中学校はつくっていただきたいと思っています。

そのコミュニティの核っていうものがなくなった後に、どのようにコミュニティを維持していくのかということを、行政が地域の方へしっかり説明しないといけないと思います。単に学校を統廃合するということだけで、あまり議論していただきたくないと思います。

市長

地域の方も交えてこれまで説明会というのを行政としてもやってきた んですが、やはり地域の人達はなくさないでくれというのがほとんどの意 見じゃないかなと思います。

ただ、現在複式学級が発生している中で、その複式学級がある状態をずっと続けていくのかと考えたときに、市内で同じ教育環境がないとそれは不公平じゃないかと私は考えています。そこは地域の皆さんにはやはり頭を下げて、統廃合をさせていただきたいとお願いをしなければいけないと思っています。

私の通っていた学校もなくなる予定です。それによって地域のコミュニ ティが崩れるかというと、必ずしも私はそうなるとは思ってはいなくて、 他のかたちで残っていく方法もあると思います。

ただ、そこを「こういうことをやっていきましょう」とか、「跡地はこういうことをしましょう」と今、仮に提案したとしても、そこは小学校統廃合を納得させるっていうための、言い訳にはあまりならないような気がしています。地域コミュニティは別に考えていき、統廃合は先に進めるべきなのかなと私は考えています。そこについて皆さんで色んな意見はあると思いますので、聴いていきたいと考えていますが、最後は行政の判断だと思っています。

委員3

統廃合に関しては子ども達のことを考えると私も反対ではないんですけど、地域の方が本当に何か漠然とした不安を抱えられていらっしゃっていることを考えると、それだけ小学校って建物ではないと思うんですね。 どんなかたちでもいいのでそこに何かしらの安心材料があると、良いので はないかという風に思っています。

委員8

コミュニティということは、地域の諸先輩達が一番不安にしているところです。(市長は) 小学校統合の言い訳にはならないとの話しでしたけど、そこに何かしら提案していただけるだけでも払拭できるものではあると思う。

委員9

全体としてどういう風に進んでいるのかっていうのが皆さん把握できていないので、その辺が一番不安だと思います。どういった方法でも構わないので連絡していただいたほうがいいと思います、皆さんにあまり情報が伝わっていない。以前は説明会とかあったと思うんですけど、最近なくなってきたので、もう一回あったほうが皆さん理解しやすいのかなっていうのはあります。

委員1

市長が言うように複式学級が普通に行われていることを、そのままにしておくことは、まともではないと思うんですよ。いじめがあった時に逃げ道がなかったり、女の子6~7人の中に男の子が1人というクラスが平気で存在していて、その子達がもう高学年を迎えようとしています。そういった中で、コミュニティも大事なんですけども、早急に複式学級を解消してあげて、すぐにその子どもの教育環境を改善しなくてはいけないと思うんですよ。

ですので、少し話が飛んでしまうかもしれないけど、なぜ適正配置審議会の中に、我々が参加したいという話を事務局に持ち上げたかっていうと、再編をする結論に持っていく中で軋轢が生まれたとき、PTAで審議会委員になっていない小学校区は最後絶対にもめると思うんです。

また、学校再編の経過について、学校のメンバーと通っている子ども達にどう説明して、どうなっているのか質問されたときに、呼ばれてないからわかんないとは言えないですよね。我々は市のためでも何でもなく、通っている子ども達のためだけに何とかしてあげたいんですよ。ですので、早急に統廃合しなければいけない対象校はそこで別に分科会を作ってもらうとか考えて欲しいです。市長が決めやすい状況や意見を吸い上げてくるのはやはり我々だと思うので、そういう意味で我々を使ってほしいという意味で参加したいということはお伝えしているつもりでいるんですが。

委員3

私のまわりには少なくとも(統廃合を)したくないという人はいません。 それこそ幼稚園に行っている親は「毎日この人数しかいなくて、そこでトラブルが起こったときどうしよう、もっと恐れているのは子どものトラブルではなく家庭同士のトラブルで、数人しかいない中で、ある一家庭とト ラブルになってしまって6年間一緒で、私あのお母さんとどうやってやっていけばいいんだろう」っていう話も聞くんです。

委員10

私の地区としては、基本的に反対されている人が多いですが、それは保 護者の反対ではないので、できれば保護者の声が大事かなと思います。

以前に説明会を実施していただいたことがあったんですが、そこで保護者から学校がなくなった後の質問があったんですけども、行政側が検討していないようなかたちだったんです。私としては統廃合のあと、例えばスクールバスを出すだとかそういうのも全部一応考えているんですという態度で臨んで欲しかったんですけど、十分な説明がなかったんで、余計反対の機運が強くなって、納得できない方が多かったです。

OB達は、統廃合はやってもいいけど自分の地域の学校は残してくれっていうことを言っています。例えばそれぞれ統合先を財政面から比較して提示したりすれば納得するのかもしれないです。

市長

私は、納得は最後までしないと思います。統廃合はどこになったとしても、ずっと反対されるんだと思います。そこは責任のある立場ですから、覚悟してやるしかないと思っています。きちんと皆さまにお話して、頭下げてお願いするしかないと思っています。これはどこの地区に対しても納得しない人は絶対いますので。なるべくわかっていただきたいという姿勢はとおしていきたいと思います。

委員11

私の地区はちょっと特異な部類に入るのかもしれなくて、コミュニティ 万々歳という地区です。というのは祖父母達が子ども達の面倒をみてくれ たからこそ、一定の人口規模を保ってこれた地区です。それに加えて、今 後市のまちづくり次第で、人口の増加も見込める地域ですし、土地柄の優 位性もあると思っています。

ですので、私はその適正配置の何が適正であるのかを示していただきたいと思っています。それを示された時に、納得のいかない答えが出たときは真っ向から反対になるのかもしれません。私たちの子ども達が戻ってきて、またこの学校に通うという、20年30年のサイクルビジョンを見越して考えていただきたいです。今のお父さんお母さんをやっている年代のためではなく、私たちの子ども達のために、私たちの子ども達が戻ってこれる学校、親となって戻ってこれる学校をこれからも続けていきたいという想いですので、今の段階で賛成ですとか反対ですと申し上げることははっきり言ってできません。

委員3

そういう風にサイクルがまわっているところをもっと検証して、市全体

としてそうなるようにしていかないといけないのかなと思います。何をもって適正なのかということなんだなと思いました。適正という意味には、子どもの人数なのか地域のコミュニティなのか、単に子どもの人数で適正と言われたらやはり納得はできないと思います。

委員6

それは常々話してて、統廃合に反対なわけではなくて、仮に、谷井田・ 三島・豊地区の話をしてしまうと、統合したとき一瞬増えますよ、でも確 実に減りますよ。市の以前の統計で、豊小は5年後10年後に120人の 規模を保てていける、けども谷井田小に至ってはその規模はもう人数が保 てなくなっているので。

つくばみらい市の人口を増やそうと努力はしてるとは思うんですけど、大きいところだけ集中して、小さいところのもともと住んでいた方を減らすというのは、市としても貴重な人材とか財産を失うような気がするんです。今○○さんがおっしゃったように土地柄優位性のあるところに、10軒もお家が建って、子どもが5人10人増えたら、それだけでもう地域自体も全然盛り上がっちゃいます。

委員3

それだけ地域コミュニティがちゃんとあったら住みたいと思います。コミュニティがない地区は、子どもをなかなか産みにくく、やはり2人が限界かなと思います。

市長

市の考えている適正というのは、小学校では1学年2学級以上、中学校では1学年3学級以上というところを考えてます。これは、国もそうですけれども、それに倣っているというだけではなくて、教育環境というのは与えるものでありますから、行政側としての責任を考えた時に、ある一定の基準をつくっておかないといけないと思っています。

皆さんの意見が当然あるのは分かっていますので、お叱りは受けるかも しれませんけども、そこは行政のやり方として私たちもドライになるしか ないというスタンスで私は考えていくしかないかなと思っております。

委員1

どこの学校も意見を聴いてもらうためにその場を与えてほしいと思っています。

私はその場で反対したいわけではなくて、「子どもを学校に行かせるために、バスをきちんと出してくれるんですか」とか、「学区が変わって通学路が変わるので、そういったところのケアがなされてるのか」というのも含めてご意見申し上げたいので、参加したいのです。すごくいいメンバーを選んでいただいていると思うんですけれど、色んな地域・学校・特色がありますので、そこは学校じゃない方の意見を聴かなきゃならないのも

分かりますけど、我々は参加させていただきたいし、意見も届かせたいと 考えてます。

委員12

私の地域は反対意見があり、先ほど話していたコミュニティの問題とか 伝統が無くなってしまうとか、子どもが地域に根づかないなどがありま す。伝統のある学校なので、学校が無くなると伝統もなくなってしまうん じゃないかということで、地域の意見としては反対が多いです。

ただ、個人的には、現在、1学年で10人くらいしかいません。今年の1年生にしてみれば、男の子が2人、女の子が8人ぐらい。男の子が2人で、2人が仲良ければ良いですけれど、トラブルがあったときに、2人だとトラブルが起きた時にどうなのかなと思います。先ほど〇〇さんがおっしゃってたように、子どもだけじゃなくて、大人同士も、人間なので合う人、合わない人いると思うんですけど、1年生の時に(トラブルが)発生して、6年間ずっと続いちゃうというのを考えると、現状のまま私たちの学校が残るのはどうなのかなと思います。子ども達は大きな学校の沢山生徒がいるような世界を知らないので、今のままで残るのはどうなのかなというのが私の個人的な意見です。

ただ、私の地区の学校は机に向かうだけの授業だけではなくて、春には 田植えをして、今の時期だと稲刈りをして、さつまいもの苗を植えてさつ まいもを収穫したり、その収穫したさつまいもを秋祭りで売ったりとか、 体で体感して食育を学ぶとか、そういった授業もあるので、そういった授 業に関しては今後も残していってあげたいと思います。大きな学校と統合 となったときに、今の規模だからできるけど、大規模校で現実的に可能な のかなと。私は賛成と反対というところでは両方の意見があります。

委員13

私の地域は〇〇小学校と一緒になるということなので、反対はありません。コミュニティも中学校区一緒なので何の不安もなく。どちらかといえば、足踏みしているところがなぜとか、なぜ進まないのか、という意見もあります。市の説明会もやっていることを知らなくて、多分PTAの中でも知らない人が多いです。今後決めていくと周知していけば、うちにとっては何も問題はないです。

市長

私も最初、市議会でこの問題も委員会として取り上げてやっていたんですね。色々なところをみながら勉強して、全部の市内の小、中学校も行って、全部の校長先生に「適正配置の規模や小規模校の在り方って先生はどう考えてますか」って聞いたんです。

10人の先生がいたら10人とも(児童・生徒の数は)多い方が良いと言っています。教育には適正な人数ってあるんです。授業もいろんな授業

ができる。授業参観して、1クラスだけ10何人のクラスだとグループ学習もなかなかできない。教育の格差ができてしまうんじゃないかという心配があったんです。

子ども達は状況を知らないから、子ども達からは言われることはないかもしれないけども、大人の責任として、同じ教育を与えなきゃいけないと 私は感じたんです。

そこには、いろんな複雑な地域の話とか学校の伝統とか絡み合ってくるので一概にそれがいいと、小規模校は駄目だというふうに否定もできないのは確かにあるんですよ。小規模校だけどきちんとやっているところもあるし、本当に素晴らしい学校だなって思います。そういったコミュニティを今後維持していくためにも、どういうことが提案できるのかなと。本当に頭が痛いですけど、でも子ども達の教育を一番に考えなきゃいけない。判断は責任をもって、決断しなければと思っています。

委員6 市長としては、1クラス何人がベストと考えていますか。

市長 20人以上で2クラス、1クラス35人までです。

委員 6 3 5 人の生徒を 1 人の先生でしっかり 1 時間、4 5 分ってやれるんですかね。

市長 今は、補助の先生を付けている。

委員6 もちろんそうですけど、全部が付くわけではないですよね。

市長 教科によっては、そうですよね。

委員6

委員6 20人以上って20人がいいのか、25がいいのか30がいいのか分からないですけど、それなりの先生が小規模の10人の子どもを見ていれば、もっといい教育ができたりしないですか。

市長 小規模校の良さを言う人は教育者の中でもいます。

当てはめようとしたら何処と何処の学校をくっつけてと、答えが決まっちゃうじゃないですか。色んな教育方針はあると思うんですけども、あまりにも形ありきでやろうとしているのではないかなと思います。

我々つくばみらい市はどういうものを目指しているのか、例えば最先端の教育で素晴らしい学校を作りたいんだとか、○○委員さんからありまし

たが大自然の自然環境あふれるところで教えながらやらせたいんだとか、 学校それぞれ特色が出てくると思うんですけども、同じような学校ばかり をつくっても、子どもの個性も出なくなっちゃうと思います。

市長

そこは、適正配置の統廃合ということに関して、小規模校に関しての考え方がまるっきり違う観点からいけば、そう言われるかもしれません。ただ私たちは、クラス替えができるのが一番いいのかと考えてます。

委員4

大規模校でも良いことがあります。先生同士も競争みたいのがあると思うんですよ。1クラスしかないと、自分の好きなようにやれることをやって、やはり複数の先生がいるとお互い切磋琢磨できるからいい部分もあると思います。

委員1

私個人的には、義務教育は基本的には平等な教育を受けることが大前提なので、個性というのは、どうしても後になっちゃうのではないかと思うんですよ。

個性は確かに大切かもしれないけど、ある程度は目をつぶるしかないと ころはあると思います。この場で話しても、市長が私たちの提案を採用す ることにはならないので、私が先ほどから言っているのは、この意見を発 表する、伝える場所に出させてほしいということです。

事務局

審議会に参加する方としない方が今回いらっしゃるということで、発言の機会を設けていただきたいということなんですけど、事務局としては、 基本的に学校の適正配置統廃合というのは、地区の皆さまも関わってくる 問題であるというところで、あらゆる年代の方からも意見を聴いて検討し たいと思っています。

意見を言う場はないのかというところですけれど、これから審議会を立ち上げて議論をお願いするわけですが、審議会の条例の中に、「必要があれば関係者を出席することができる。」とありますので、審議会の方に提案しまして、皆さまに審議会の場所に来ていただいて意見を聴いていただく場を確保したいと思っています。

また、今後の予定をお話しさせていただくと、審議会を迎えるにあたって、これまでの方針(の再検討)だとか、今回アンケートをとらせていただきましたが、その結果も説明するために、10月14日の日曜日に説明会を予定しております。その中でも、今日のようなことも言っていただければ審議会に伝えることもできますので、是非とも参加して頂きたいと思います。

その他に、私どもとしては、適正配置だよりを随時発行させていただく

のと、ホームページとか市の広報であるとかで、説明会の告知をしたいと 思っておりますので、是非とも参加して頂きたいというところでありま す。

委員1 審議会に参加できるんですか、そういう形で呼ばれれば。

事務局審議会の了解が必要になります。

委員1 了解がOKなら毎回参加して普通のメンバーのように会話ができるんですか。

事務局審議には参加できませんが、意見を発表することはできます。

委員1 審議と意見を言うというのは違うんですか?

委員3 決めることができない。決定権を持っていないが意見は言える。

委員1 求められれば意見を言えるけど、決定権はない。

委員4 呼ばれても、その場では意見しか言えない。

委員1 地域の方の参加も大事ですけど、PTA関係者の意見って、呼び出しといて、何の議決権もなくて、市はそれで構わないのですか。

委員3 私たちPTAは審議会に6人しか入っていませんし、その他の14名が どんな方か分かりません。つくばみらい市の先のことを考えれば、今現役 で子育てをしている方々から意見を聴くというのはすごく大事ですし、そ れをその場で意見を出し合ってまとめるとか、そういうことをしていかな いと、決まらないですよね。

委員1 地域コミュニティとか地域づくりということがあるので、地域の代表者も大切ですが、学校の再編ですので学校のスタートになるんです。私たちに関わる学校ですので、私がいつまで代表をやるか分からないですけど、知らんぷりするわけにいかないんです。

委員4 審議会に必要な時に呼ばれて、議決権もない立場で意見をいうという話だと、怖くて行けないです。関わっているように見えて、実は関わってない。

委員7

私は今しか統廃合はできないと思ったんで、小田川市長にまずは場を設けてくれとお願いしたんです。市のトップに対して直接話ができて、直接リターンがもらえるという機会をこれからも作っていきたいと思っています。批判ばかりでは前に一歩も進まないので、であれば我々は市に対して何ができるのかを考えていかなければいけないですよね。

我々にできることをするしかないので今回だけではなくて、やはり機会を設けて、「次は結論を出すような話をしましょう」とか、「もう少しディスカッションのやり方を変えましょう」とか、それが私はいいと思うんです。そうやって仮に非公式でも、非公式が公式になるように私はもっていきたいし、審議会の件についても、私は1票ありますから、委員の発言として皆さんがおっしゃってることは言うつもりです。少なくとも、皆さんがこれだけ真剣に話をしてくれてるっていう気持ちだけは、審議会の他の人にもわかってほしいと思っています。

そんな形で進めていきたいと思いますし、今直近で出来ることは、更にこの場を設けていくこと。1回目の審議会では、選ばれなかった地区の意見をもう少し公的に聴けるように持っていくようにできないかということは、私は審議会のいち委員として発言したいと思っていますので、今日のところはご勘弁願えればと思います。

委員4

20人の枠を何とかするというのはもうできないですか?

市長

今条例を変える必要はないのかなと思っています。

委員1

選ばれていない地区の意見を聴く気はないんですね。

事務局

聴く気はないということではなくて、審議会じゃなければ駄目という話ではないと思います。こういう場で言ってもらった事も、当然審議会へ伝えていきます。

委員1

どういう風にしたら意見を取り入れてもらえますか。

市長

審議会で上がってきた答申をもらって、必ずしも市の意見が合致するか というと、そうではないと思います。やはり市でも考え方がありますし。 この審議会で出てきた意見は尊重します。だけど、皆さんの意見も尊重し ます。これは同じ立場だと思っているんです。

委員 1

審議会が終わらない限り、統廃合の時期や詳細は全く話さないつもりな

んですか。要は、複式学級をこのまま何年放っておくのかという質問です、 2年後?

市長

ここで私が発言すると、これがまた独り歩きする。もう決まっているよと独り歩きするのが怖いですよね。考えてはいますが今いつとは言えないです。ですが私の中の答えはあります。

今言えることは適正配置に関してはスピード感をもって進めていきた いということです。もうすでに今までの計画だと31年に東と板橋が統合 だったんですよ。その次の年が三島の統合だったんですね。その準備すら 今年の4月にはできてなかった。去年の一年間っていうのはほとんどやっ てなかった。では、これを進めるにはどうすればいいか。この計画を作っ た時と今の状況っていうのは、だいぶ状況が変わってきたというのが見え てきた。この計画自体が一年延びましたけど、果たしてこのままスピード 感をもってやってていいのかと考えた時に、この通りでは進まないという 課題が見えてきました。そこを皆さんには話をしたいんだけど、そこまで 言ってしまうと、また違う問題で地域に、そして学校、そこが色んな意見 が出てきて、まとまらなくなってしまうと考えています。ですから、そこ は段階を踏んで、まずできることは、何処と何処の統合なのか、というの を早目に私は決めたいと思っています。1年そして2年という形で段階を 経て進めていきたいな、というスケジュールで私は考えています。私に今 言えるのは、この最初に計画を策定した時と状況は変わりました。新たな 問題が1つだけではなくて、2つ3つ見えてきました。

これはみらい平も含めて、小絹に関しても人口が減ってきてるので考えなきゃいけないし、伊奈東中に関しても、伊奈東中が、今一番人数が減ってきているということがありますので、そこをどうしていけばいいのかということも、いろんな意見を聴いてと考えていくということは私の中ではあります。

委員7

時間が来てしまいましたので、今日のところは第1回目ということで締めさせていただきます。市長もおっしゃっていただいているので、今回だけじゃなくこういう機会は設けていただけるということでよろしいでしょうか。

市長

はい。お願いします。